

多重・分散型国土軸の形成と災害時のリダンダンシーの確保を図る道路整備について

【担当省庁】国土交通省

「山陰近畿自動車道」（鳥取豊岡宮津自動車道）の国による早期事業化

- ◆ 「山陰近畿自動車道」は、全国的な自動車交通網を構成する道路であり、日本海国土軸の形成に不可欠な道路であることから、国が責任を持ってミッシングリンクを解消していただきたい。
- ◆ 「山陰近畿自動車道」に関する調査を国により平成 21 年度から継続して進めていただいているが、本調査を一層推進いただき、速やかにルートを決めるとともに国により事業化していただきたい。
- ◆ 特に、大宮森本 I C～網野 I C（13 km）はルートに平行して活断層（郷村断層）があり、複雑で脆弱な地質であるため高度な技術を要すること、クマタカ・オオタカ営巣地など自然環境への高度な配慮が必要であることから、直轄権限代行による整備を平成 27 年度に実施していただきたい。

「新名神高速道路」の早期全線開通及び直轄国道 24 号の一体整備

- ◆ 開通後 50 年を経過する名神高速道路の更新工事に備え、代替道路となる新名神高速道路を早期に全線開通していただきたい。
併せて、市町と共に進めている沿線開発計画に合わせた関連道路やスマートインターチェンジ等の整備推進及び必要な財源を確保していただきたい。
- ◆ 新名神高速道路と学研都市を結び、木津川右岸地域の振興を図るとともに、国道 24 号の渋滞の解消を図り、また、災害時のネットワークを強化するため、危機管理上重要な国道 24 号の代替路線として、国による調査が開始された宇治木津線を国道 24 号寺田拡幅事業と接続し、一体整備していただきたい。
については、平成 27 年度は、「地域道路網調査」からランクアップして「宇治木津線の名称が明記された調査」として「計画段階評価調査」を実施していただきたい。

「京都縦貫自動車道」の平成 26 年度の開通

- ◆ 「京都縦貫自動車道」については、整備予算を確保いただいているところであるが、平成 26 年度の開通に向け、工事を加速していただきたい。

<国土交通省の概算要求>

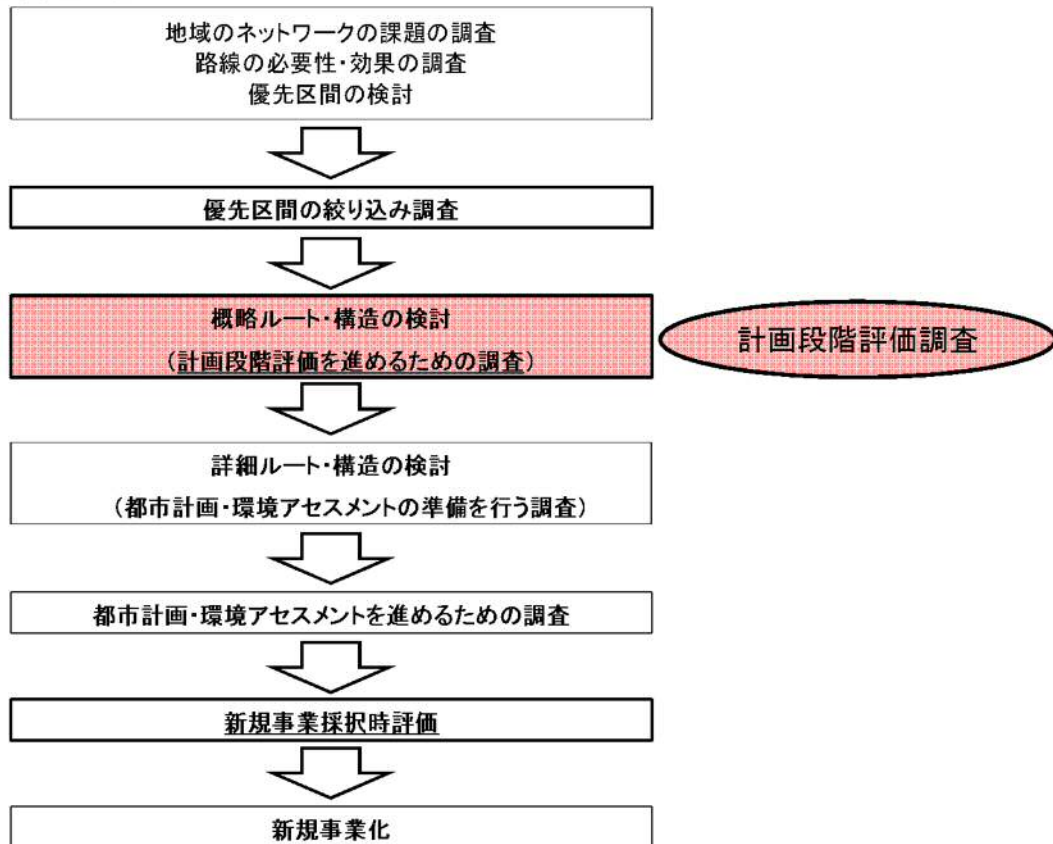
◎ 道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保 5,569 億円

個性ある地域やコンパクトな拠点を道路ネットワークでつなぎ、距離の制約を克服し、地域・拠点の連携を確保するための高規格幹線道路等の整備を推進

【現状・課題等】

路 線 名		要望内容	
高規格幹線 道路	新名神高速道路	城陽・八幡間	事業促進（平成 28 年度完成）
		大津・城陽間	事業促進（平成 35 年度完成）
		八幡・高槻間	事業促進（平成 35 年度完成）
	舞鶴若狭自動車道	福知山・舞鶴西間	4 車線化の早期完成
地域高規格 道路	山陰近畿自動車道 (鳥取豊岡宮津自動車道)	野田川大宮道路	事業促進（平成 28 年度完成）
		大宮・網野間	国による早期事業化 (直轄権限代行も含む)
		網野以西	国によるルート決定
	宇治木津線	城陽・木津間	国による早期事業化 (計画段階評価調査)

◇道路調査の流れ



【京都府の担当課】

建設交通部 道路計画課 075-414-5246